

# グッドプラクティス資料

## 降車合図押ボタン



# 新型モデル

## 押しやすい 分かりやすい 降車合図押ボタン



### CUD 認証取得

色覚の多様性に配慮しています。

### UD フォント採用

判読性の良いフォントを使い、  
文言の見直しも行いました。

### ボタン凸形状

中央部に凸形状を採用。  
ボタン部をより分かりやすくしました。

### 日本語、英語の併記

日本語、英語、ピクトグラムを併記。  
インバウンド対応も万全です。



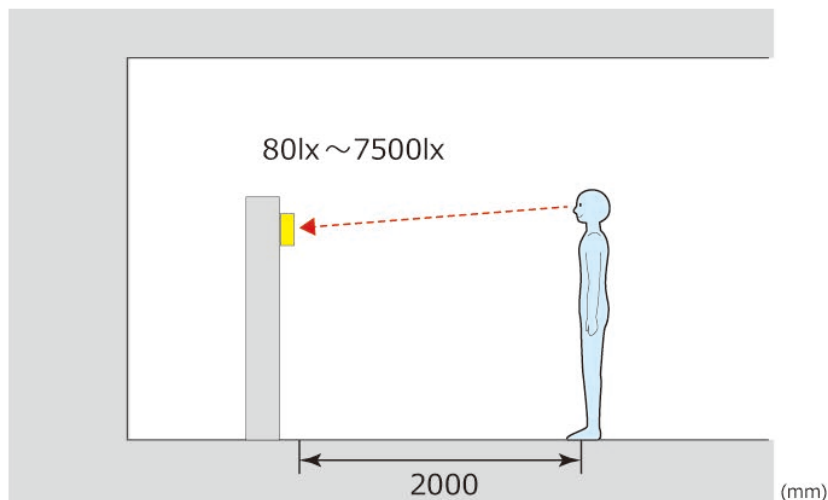
業界初!!

# オージの降車合図押ボタンは カラーユニバーサルデザイン認証



公共の乗り物である路線バスは、どのような色覚の方でも、正しく認知ができるように、わかりやすい色と図案を使うことが大切です。オージではカラーユニバーサルデザイン（CUD）対応を進めています。

## CUD 検証について



### 検証環境

【最低・最高照度】

室内最低照度 80lx - 外光含む空間最高照度 7500lx

【視認距離】 設置位置より 2000mm

### 検証員

P型 D型 C型



### 屋外での検証

バスの窓から外光が差し込んだ場合に、判読が可能かを検証した。

### 屋内での検証

ブラインドを調整しながら、連続的に外光をコントロールしての検証。走行時の入光は刻々と変化する為。



### LED 発光時の検証

LED 発光時の透過文字も検討した。LED の数を増やすなど細かい調整を実施して、CUD 認証となった。

# 経緯・現状分析

## 旧モデル



## 旧モデル



## 問題点

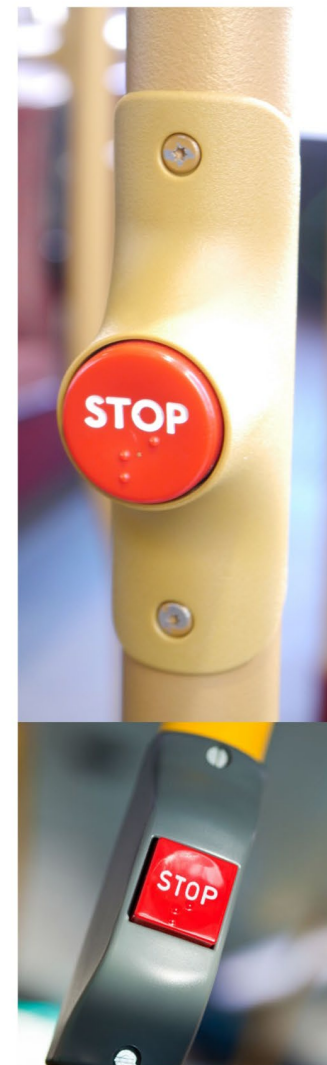
- ① 上下対称デザインでランプ部を押してしまう。
- ② 英語表記がなく、インバウンド未対応。
- ③ 確認ランプの視認性。

# 経緯・現状分析

## 海外モデル分析

競合他社モデルにつきモザイク処理します。

## 他社モデル分析



- ・オレンジ色のボタンに黒色文字の組合せは、色弱者や弱視の方には視認性が低い可能性がある。
- ・外国人への配慮を勘案すると英語併記は必要ではないか。
- ・点字表記がある方がよりユニバーサルな仕様となる。
- ・「誤報」への配慮は大切だが、「押し易さ」もまた重要。

他社モデルや海外モデルの事例を分析することで、新型モデルの商品コンセプトを明確化していった。

- ・海外のバスボタン事例。  
オレンジ色ボタンに白抜き文字となる。
- ・点字のようなものも見えるが、詳細は不明。
- ・「誤報」は無視するかのような凸形状ボタン。

# デザイン案の展開



社内意見 9/22

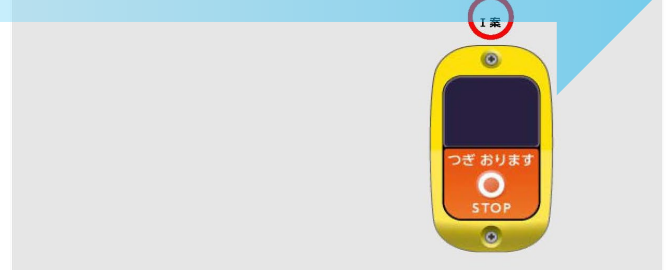
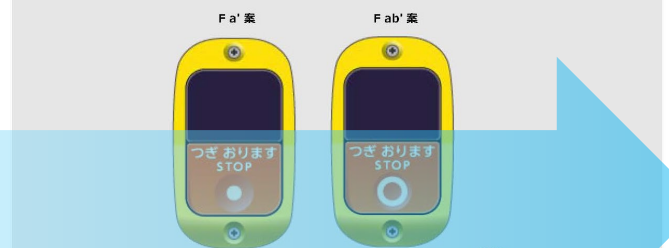
- ・B案  
⇒丸い印刷でボタンらしく見える。  
⇒全部ひらがなというのは間が抜けた印象もある。
- ・F案  
⇒凹形状があって、ボタンらしいイメージ。
- ・C案  
⇒ボタン下部の形状が特徴的。  
⇒凸突起が点字と紛らわしいので、横線突起が良い。
- ・H案  
⇒指ピクトグラム案も捨てがたい。顧客要望あり。

B案F案G案A案をベースに再検討を実施する。



水除見解

- ・B ab案  
⇒○凸形状と○印刷の組合せがボタンらしさを喚起する。
- ・H abcd'案  
⇒B ab案に指ピクトを加えた図案を検討。



水除見解

- ・B 案  
⇒○凸形状と○印刷の組合せがボタンらしさを喚起する。
- ・I案  
⇒文言が上下に分かれるが意外と違和感がない。

ボタン部印刷、ピクトグラムの有無、ボタン形状（凹or凸）等々、様々なデザイン検討を試みた！

# 旧モデルと新型モデル

旧



新



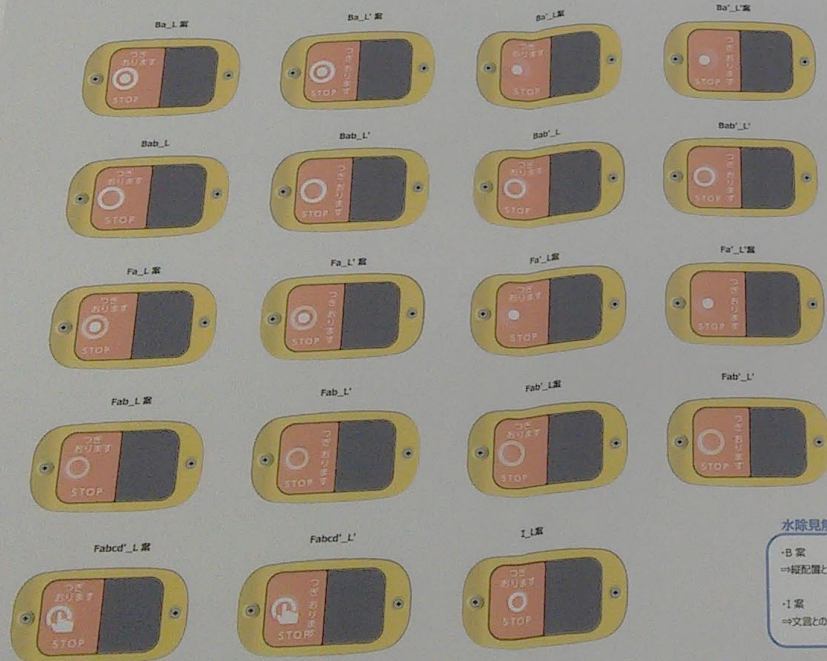
凸形状をもうけ、ボタン認識をしやすくしました。

ボタン印刷、発光文字ともに、日本語、英語の併記にしました。

# 試作機の展開



第の字之め (機配置) 171218



## 水除見解

- ・B 案  
⇒ 縦配置と同様に凸形状がボタン押し感の増減する。
- ・I 案  
⇒ 文書とのバランスを勘案するとベストと思える。



スケッチに基づいてつくられた、  
3Dプリンタモックアップ。

# ユーザビリティテスト

**テスト機関** : 某国立大学 人間工学系研究室  
**テスト実施期間** : 2019年4月より約2か月間  
**被験者** : 学部生および大学院生 男女59人

## 実験方法

・バス降車ボタンのユーザビリティについて、アンケート調査を行う。アンケート調査では実機・試作機計4種を用い、被験者にはアンケート用紙に回答を記入させた。被験者は学部生および大学院生とした。

## 分析方法

・4種のバス降車ボタンを対象とした。アンケート調査の結果のうち、評価と関連の強い語句を計量テキスト分析により抽出した結果を報告する。



## 調査場所

本調査は、某国立大学 6 階の実験室にて行った。バスの降車ボタンは、設置状況は普段の使用状況に近くなるよう、窓ガラスに治具を介して設置されている。

## 手順

被験者には、リフレッシュ課題とバス降車ボタン操作課題を交互の実施を依頼した。リフレッシュ課題として、プールで溺れている人を見つける課題を用いた。バス降車ボタン操作課題は、カバーに覆われたバス降車ボタンのカバーを手前に引いて倒し、その奥にあるバスの降車ボタンを押す課題とした。

それらの課題を終えた後、アンケートへの回答を依頼した。アンケート回答時には、バスの降車ボタンへの再度の操作を許可した。

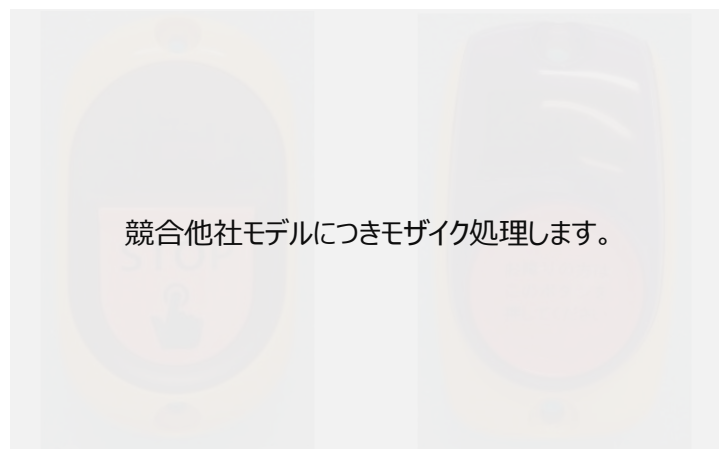
## 評価基準

アンケートでは、4種の降車ボタンに対し、以下の4点について5段階評価を行った。

- 見やすさ（見にくい ← 1 2 3 4 5 → 見やすい）
- 迷いやすさ（迷う ← 1 2 3 4 5 → 迷わない）
- 押しやすさ（押しにくい ← 1 2 3 4 5 → 押しやすい）
- 使用への動機（使いたくない ← 1 2 3 4 5 → 使いたい）



Type A  
旧モデル



Type B  
他社モデル

Type C  
他社モデル



Type D  
新型モデル

# アンケート調査の結果を下記に示す。

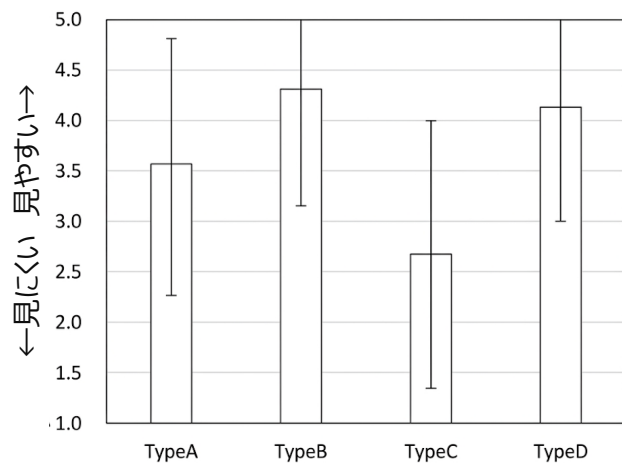


図1.見やすさの評価

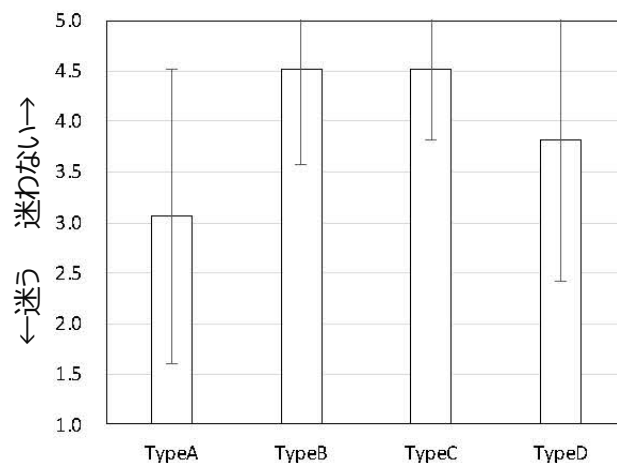


図2.迷いやすさの評価

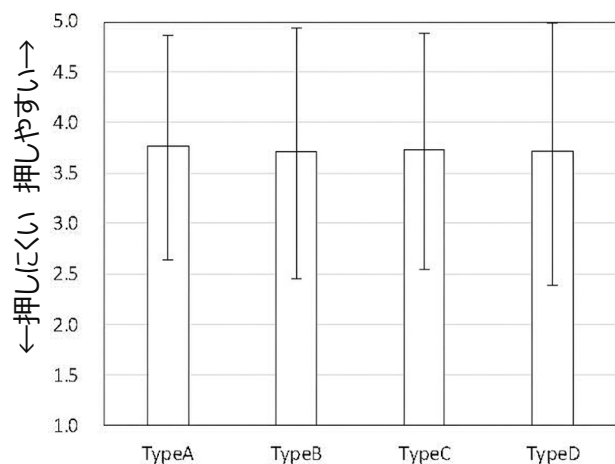


図3.押しやすさの評価

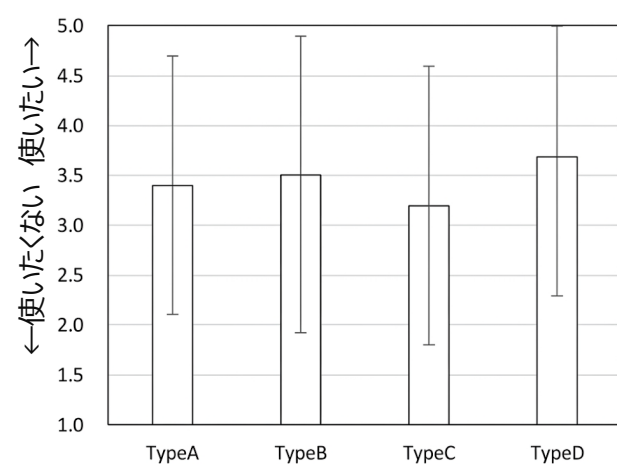


図4.使用への動機の評価

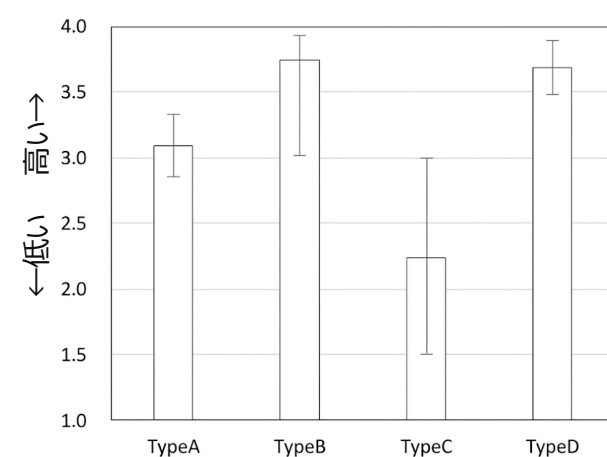


図5.使用への動機の順位

## 図1～5（前ページ）より得られた結果を記す。

図1より、見やすさに関しては、**新型モデルにおいて見やすさが向上した。**

図2より、**Type A がもっとも迷いやすい評価**となり、Type B およびType C がほぼ同じ程度に迷わないという評価であった。Type D は、その中間の評価であった。

図3より、ボタンの押しやすさはいずれのボタンも大きな違いは無かった。

図4より、使用への動機は**Type D が最も高い評価**となり、次にType B が高い評価となった。

図5より、使用への動機順位はType B とType D がほぼ同じ程度に高い評価であった。

図1～5を比較すると、**見やすさと使用の動機や使いたい順位に同様の傾向**が見られた。その一方で、各降車ボタンで評価に大きな差の生じた迷う程度や、差のほとんどなかった押しやすさの程度については、使用への動機への影響が小さいと言える。

## 評価方法（自由記述により各評価の理由を評価した）

自由記述の内容について、KHcoder を用いて、計量テキスト分析を行った。

数値による評価とコメントの内容の関連の強さは、Jaccard 類似性測度の値で評価した。

Jaccard 類似性測度は、0 から1 の値を取り、値が大きいほど関連が強いことを示す。

計量テキスト分析において、分かりやすさ及び見やすさの肯定または否定する語を抽出することを意図して、以下の語を強制抽出した。

「分かりやす」 「分かりにく」 「見やす」 「見にく」



## 調査結果（アンケートの計量テキスト分析）

表1にType毎の「見やすさ」の評価と、その評価の理由に含まれる特徴的な言葉を示す。

TypeAにおいて「慣れる」や「見慣れる」のが評価1, 2で多いことから、TypeAの見やすさの根拠は慣れであると言える。その一方で、3～5の評価では、「文字」「読む」「多い」などの語が多く、文字列を読解することが評価を下げたと言える。

TypeBにおいて、「シンプル」や「絵」「マーク」などイラストに関する語が1, 2の評価で多いことから、TypeBの見やすさは情報量の少なさとイラストの使用による。一方、3～5の評価は「英語」「STOP」との関連が強く、文字情報が英語のみである点に着目していた。

TypeCを1又は2と評価したコメントから、見やすさは、「フォルム」「きれい」などボタンの形状に関する語との関連が強い。その一方で、「細かい」といった文字の小ささに関する語との関連も強かった。評価が3～5におけるコメントから、「小さい」「文字」「多い」「細い」など文字に関する語が、低い評価と関連が強いことが分かった。

TypeDを1又は2と高く評価したコメントから、「絵」に加え「英語」「STOP」等の語との関連が強いことから、イラスト、英語及び日本語の表記が高い評価と関連が強いと言える。他方、3～5の低い評価と関連の強い語が「白」「同化」「背景」など色に関するものが多いことから、オレンジの地に対して白文字、白イラストが見にくかったことがこの評価につながったと言える。

表 1

	1	Jaccard	2	Jaccard	3	Jaccard	4	Jaccard	5	Jaccard
TypeA	見やす	0.24	分かりやす	0.11	文字	0.33	押す	0.50	多い	0.18
見やすさ	文字	0.19	見慣れる	0.10	大きい	0.18	全文	0.25	悪い	0.14
	大きい	0.17	見る	0.05	多い	0.18	分かる	0.25	思う	0.14
	パス	0.07	黒い	0.05	書く	0.13	上と下	0.20	人	0.14
	一番	0.07	指示	0.05	長い	0.13	読む	0.20	大変	0.14
	慣れる	0.07	少し	0.05	簡潔	0.07	迷う	0.20	文	0.14
	離れる	0.07	色	0.05	短い	0.07	見やす	0.11	目	0.14
	読む	0.06	日本語	0.05	普通	0.07	大きい	0.07	長い	0.10
	ボタン	0.06	文章	0.05	小さい	0.07				
	見慣れる	0.06	目立つ	0.05	ボタン	0.06				
TypeB	分かりやす	0.18	STOP	0.19			ボタン	0.25	一瞬	0.33
見やすさ	見やす	0.14	文字	0.18			位置	0.25	押す	0.33
	シンプル	0.11	目立つ	0.15			英語	0.25	見る	0.25
	少ない	0.08	良い	0.15			分かる	0.17	分かる	0.20
	描く	0.05	大きい	0.14			STOP	0.11		
	絵	0.05	分かりやす	0.10						
	デザイン	0.03	黒文字	0.08						
	パット	0.03	視覚	0.08						
	マーク	0.03	色	0.08						
	外国	0.03	説明	0.08						
TypeC	きれい	0.13	見やす	0.22	下腿	0.13	文字	0.47	小さい	0.29
見やすさ	フォーム	0.13	ボタン	0.11	見慣れる	0.13	小さい	0.41	文字	0.26
	分かりやす	0.13	押す	0.11	普通	0.13	見にく	0.21	人	0.18
			細かい	0.11	小さい	0.12	多い	0.13	思う	0.09
			色	0.11	見にく	0.08	少し	0.09	読める	0.09
			部分	0.11			細い	0.04	年配	0.09
			目立つ	0.11			止まる	0.04	不便	0.09
			見る	0.10			書く	0.04	良い	0.09
							上	0.04		
							分かる	0.04		
TypeD	見やす	0.16	分かりやす	0.14	黒	0.40	見にく	0.30		
見やすさ	絵	0.13	白	0.14	白	0.33	同化	0.20		
	英語	0.10	ボタン	0.11	少し	0.33	背景	0.20		
	日本語	0.10	シンプル	0.11	見にく	0.30	文字	0.18		
	分かりやす	0.09	STO	0.06	黒字	0.20	白い	0.13		
	一番	0.07	STOP	0.06	情報	0.20	白	0.09		
	外国	0.07	オレンジ	0.06	橙	0.20				
	思う	0.07	フォーム	0.06	文字	0.18				
	イラスト	0.03	暗い	0.06	簡潔	0.17				
	マーク	0.03	押す	0.06	見る	0.17				

## 表2にType 毎の「迷いやすさ」の評価と特徴的な言葉を示す。

TypeA で、迷いやすさの評価が1～3 の迷いやすいという評価を付けた回答者のコメントの特徴的な語として、「上」「下」「紫」「同じ」など、位置や色、サイズにおいて上下を同じレベルで扱っていることが分かった。すなわち、ボタンの機能を持った下の部分だけでなく、上の部分にも注意が向けられていると言える。評価が4 または5 の迷いにくい側の評価を付けた回答者のコメントの特徴的な語として、「慣れ」があり、見慣れていることが迷いにくさにつながっていると言える。

TypeB で1～3 の迷いやすい側の評価では、「緊急」との関連が強く、電車やホーム等にも設けられている緊急停車ボタンを連想している可能性がある。他方、評価が4 又は5 では、「マーク」「指」「図」「絵」などイラストに関する語に加え、「形」「違う」などボタン部分と点灯部分の形状が違うことに対する語との関連が強かった。

TypeC では、1～3 の迷いやすい側の評価と関連の強い語は特になかった。他方、評価が4 または5 の迷いにくいと評価した回答者のコメントにおいて特徴的な語として、「形」「丸」「円」などボタンの形状に語が拵がった。

TypeD で1～3 の評価と関連の強い語は、「紫」「上」「同じ」「上と下」「形」など点灯部分とボタン部分の形状が同じであることを示す語であった。他方、評価が4 又は5 では、「絵」などイラストに関する語に加え「膨らむ」など形状に関する語との関連が強かった。

表2

	1	Jaccard	2	Jaccard	3	Jaccard	4	Jaccard	5	Jaccard
TypeA	紫	0.30	上	0.29	少し	0.18	迷う	0.20	押す	0.15
迷いやすさ	上	0.21	同じ	0.24	押す	0.14	ボタン	0.14	バス	0.06
	下	0.15	形	0.22	上と下	0.13	使い慣れる	0.14	慣れる	0.06
	押す	0.15	迷う	0.17	迷う	0.11	特に	0.14	見かける	0.06
	迷う	0.11	下	0.15	上下	0.10	場所	0.13	書く	0.06
	オレンジ	0.11	分かる	0.15	迷い	0.10	少し	0.11	乗る	0.06
	四角	0.11	上と下	0.14	一瞬	0.09	上	0.11	読む	0.06
	指示	0.11	ボタン	0.13	分かりにく	0.08	思う	0.10	分かりやす	0.06
	実際	0.11	分かりにく	0.11	文字	0.08	下	0.08	明らか	0.06
	毎回	0.11	思う	0.11	形	0.07	分かる	0.08	明確	0.06

TypeB	緊急	1.00	最初	0.25	分かる	0.50	押す	0.21	絵	0.09
迷いやすさ	事態	1.00	初めて	0.25			場所	0.20	迷う	0.07
	思う	0.33	ボタン	0.17			分かりやす	0.19	STOP	0.05
							マーク	0.17	イラスト	0.05
							形	0.17	違う	0.05
							指	0.17	押せる	0.05
							図	0.10	書く	0.05
							分かる	0.09	他	0.05
							明確	0.09	デザイン	0.02
							ボタン	0.08	バス	0.02

TypeC					良い	0.13	形	0.20	丸い	0.20
迷いやすさ					分かる	0.11	分かりやす	0.18	押す	0.17
					迷う	0.09	押す	0.14	丸	0.11
							ボタン	0.13	思う	0.08
							カタチ	0.07	場所	0.08
							異なる	0.07	人	0.05
							部分	0.07	ボタンっぽい	0.05
							明確	0.07	分かる	0.05
							迷い	0.07	オレンジ	0.03
							円	0.07	バス	0.03

TypeD	紫	0.43	同じ	0.33	形	0.18	ボタン	0.14	分かりやす	0.18
迷いやすさ	上	0.29	上と下	0.25	フォルム	0.14	押す	0.11	絵	0.14
	押す	0.25	形	0.22	嫌	0.14	一緒	0.08	使う	0.07
	イラスト	0.14	それぞれ	0.20	上下	0.14	色調	0.08	アイコン	0.04
	オレンジ	0.14	メッセージ	0.20	大きい	0.14	比較的	0.08	デザイン	0.04
	分かる	0.14	印象	0.20	分ける	0.14	膨らむ	0.08	バス	0.04
	毎回	0.14	小さい	0.20	目的	0.14	明確	0.08	押せる	0.04
	迷う	0.13	薄い	0.20	慣れる	0.13	面積	0.08	現在	0.04
	下	0.13	幅	0.20	似る	0.13	目立つ	0.08	指	0.04
	思う	0.13	迷う	0.15	同じ	0.11	場所	0.08	手	0.04

### 表3にType 毎の「押しやすさ」の評価と特徴的な言葉を示す。

TypeA で「押しやすさ」を1 又は2 の押しやすい側の評価と関連の強かった語は、「カチッ」「柔らかい」などであった。他方、評価が3～5の押しにくい側の評価と関連の強かった語は「固い」や「上部」であり、ボタン部分の上部の固さに関する語であった。

TypeB で1 又は2 の評価と関連の強かった語は、「カチッ」「カチカチ」「音」などであった。また、評価が3～5の評価と関連の強かった語は「小さい」や「形」などの形状に関する語に加え「勘違い」「緊急」であり、緊急時の非常停止ボタンに見えてしまい戸惑う可能性があることが分かった。

TypeC で1 又は2 の評価と関連の強かった語は、「カチッ」「カチカチ」などであった。評価が3～5の評価と関連の強かった語は「形」「小さい」などであり、小さいことによる押しにくさがあると言える。

TypeD で1 又は2 の評価と関連の強かった語は、「突起」「場所」「飛び出す」などボタン中央部の凸部への評価が多かった。評価が3～5の評価と関連の強かった語に特徴的な語は見当たらなかった。

表3

	1	Jaccard	2	Jaccard	3	Jaccard	4	Jaccard	5	Jaccard
TypeA	良い	0.10	カチッ	0.21	可	0.11	四角	0.20	固い	0.50
押しやすさ	カチカチ	0.05	音	0.07	不可	0.11	四角い	0.20	分かる	0.50
	一番	0.05	滑らか	0.07	下	0.06	上部	0.20	押す	0.20
	押し	0.05	軽い	0.07	感じ	0.06	分かりにく	0.17		
	感覚	0.05	思う	0.07	区別	0.06	面積	0.17		
	広い	0.05	柔らかい	0.07	出っ張る	0.06	押す	0.15		
	指	0.05	変わる	0.07	色	0.06	押せる	0.14		
	全部	0.05	ボタン	0.07	怖い	0.06	大きい	0.14		
	普通	0.05	全部	0.07	ボタン	0.05				
	面積	0.05	押せる	0.06	普通	0.05				
TypeB	フィット	0.10	カチッ	0.13	小さい	0.18	勘違い	0.14	感じ	0.25
押しやすさ	良い	0.10	音	0.06	形	0.17	急	0.14	押す	0.18
	カチカチ	0.05	感	0.06	少し	0.17	緊急	0.14		
	バネ	0.05	感覚	0.06	固い	0.09	降る	0.14		
	押せる	0.05	好き	0.06	分かりやす	0.09	止まる	0.14		
	感触	0.05	硬い	0.06	落ち着く	0.09	人	0.14		
	関学	0.05	形	0.06	ボタン	0.08	浅い	0.14		
	強い	0.05	少し	0.06	硬い	0.08	停車	0.14		
	軽い	0.05	普通	0.06	普通	0.08	分かりにく	0.14		
	行く	0.05					ボタン	0.13		
TypeC	良い	0.10	ボタン	0.11	可	0.09	小さい	0.25	感じ	0.25
押しやすさ	カチッ	0.10	カチッ	0.09	形	0.09	押す	0.21	押す	0.06
	カチカチ	0.06	せり出す	0.05	固い	0.09	押せる	0.14		
	フィット	0.06	位置	0.05	時間	0.09	可能	0.14		
	押し	0.06	凹む	0.05	出っ張る	0.09	感じる	0.14		
	丸	0.06	音	0.05	不可	0.09	慌てる	0.14		
	丸い	0.06	感覚	0.05	落ち着く	0.09	合う	0.14		
	行く	0.06	思う	0.05	感じ	0.08	指	0.14		
	指先	0.06	少し	0.05	普通	0.08	場所	0.14		
	全部	0.06	部分	0.05	良い	0.07	人	0.14		
TypeD	突起	0.09	押す	0.17	なんか	0.08	感じ	0.29	感覚	0.33
押しやすさ	良い	0.09	場所	0.15	下	0.08	考える	0.17	押す	0.24
	押し	0.08	押せる	0.14	気持ち	0.08	車内	0.17	オレンジ	0.20
	ぶ	0.04	簡単	0.08	邪魔	0.08	揺れる	0.17	ポコ	0.20
	慣れる	0.04	弱い	0.08	浅い	0.08	押す	0.16	違う	0.20
	指	0.04	人	0.08	凸	0.08	悪い	0.14	出る	0.20
	柔らかい	0.04	他	0.08	ボタン	0.07	感	0.14	薄い	0.20
	全部	0.04	飛び出す	0.08	悪い	0.07	分かる	0.14	場所	0.14
	部分	0.04	分かりやす	0.08	普通	0.07	押し	0.13		
	感	0.04	盲目	0.08	出っ張る	0.07	押せる	0.11		

## 表4 にType 毎の「使用への動機」の評価と特徴的な言葉を示す。

TypeA で評価が1 又は 2 の「使いたい」側の評価と関連の強い語は「使い慣れる」や「見慣れる」であった。他方評価が3～ 5 と関連の強い語は「迷う」「恥ずかしい」「間違える」であり、見慣れていながらも押し間違えて恥ずかしい思いをしたことが低評価につながったと言える。

TypeB で1 又は 2 の評価と関連の強い語は、「分かりやす」「STOP」「絵」であり、イラストと短い文字で構成されたデザインが分かりやすいと評価されたと考える。他方、3～ 5 の評価と関連の強い語は「緊急」「間違える」「勘違い」であり、緊急時の非常停止ボタンのように見えることから押す際に抵抗を感じていると言える。

TypeC で1 又は 2 の評価と関連の強い語は、「丸」「一目」「明確」など丸で表現されたボタン部分が押す部分であることを明示していると感じていると言える。他方、3～ 5 の評価と関連の強い語は「文字」「小さい」「見にくい」などであり、文字の小ささへの不満が評価の低さにつながった。

TypeD で1 又は 2 の評価と関連の強い語は、「英語」「外国」「配慮」など日本語と英語を併記してあることによる分かりやすさによると言える。他方、3～ 5 の評価と関連の強い語は「間違える」などであった。

表4

	1	Jaccard	2	Jaccard	3	Jaccard	4	Jaccard	5	Jaccard
TypeA	一番	0.10	使う	0.24	押す	0.12	恥ずかしい	0.14	迷う	0.25
使用への動機	今	0.10	安心	0.07	間違える	0.08	迷う	0.14		
	使い慣れる	0.10	押し	0.07	普通	0.08	ボタン	0.13		
	見慣れる	0.09	形	0.07	場所	0.08				
			見やす	0.07	分かりにく	0.08				
			身近	0.07	パス	0.04				
			大きい	0.07	バット	0.04				
			微妙	0.07	慣れる	0.04				
			文字	0.07	言える	0.04				
			見る	0.06	上と下	0.04				

TypeB	分かりやす	0.18	絵	0.12	何となく	0.07	欠ける	0.17	緊急	0.33
使用への動機	思う	0.12	人	0.12	勘違い	0.07	少し	0.17	降りる	0.17
	STOP	0.11	分かる	0.12	止まる	0.07	デザイン	0.14	事態	0.17
	押し	0.06	押す	0.11	小さい	0.07	思う	0.13	間違える	0.14
	間違い	0.06	外国	0.06	場	0.07	分かりにく	0.13	分かりにく	0.13
	工夫	0.06	国	0.06	高齢	0.07	STOP	0.11	STOP	0.11
	真っ先	0.06	使える	0.06	分かりにく	0.06			使う	0.11
	入る	0.06	抵抗	0.06	使う	0.06			分かりやす	0.11
	文字	0.06	デザイン	0.06						
	目	0.06	高齢	0.06						

TypeC	押す	0.15	場所	0.14	文字	0.27	文字	0.10	不快	0.33
使用への動機	イメージ	0.10	分かりやす	0.14	小さい	0.24	見にく	0.08	デザイン	0.25
	慣れる	0.10	使う	0.13	分かる	0.11	個人	0.08		
	丸	0.10	押す	0.12	見慣れる	0.05	好む	0.08		
	丸い	0.10	一目	0.07	細かい	0.05	思う	0.08		
	明確	0.10	見える	0.07	書く	0.05	紫	0.08		
	ボタン	0.09	自分	0.07	少し	0.05	大きい	0.08		
	良い	0.08	傷害	0.07	読む	0.05	特に	0.08		
			日本人	0.07	ボタン	0.05	デザイン	0.07		
			無い	0.07	良い	0.05	良い	0.07		

TypeD	分かりやす	0.15	思う	0.15	押す	0.15	好き	0.14	悪い	0.25
使用への動機	英語	0.11	使う	0.14	間違える	0.09	不安	0.14	気持ち	0.25
	配慮	0.11	良い	0.10	思う	0.07	押し	0.13	押す	0.14
	外国	0.10	外国	0.10			押せる	0.13	使う	0.11
	使う	0.09	分かりやす	0.09						
	3つ	0.06	絵	0.05						
	イメージ	0.06	簡潔	0.05						
	一番	0.06	見慣れる	0.05						
	凹凸	0.06	最も	0.05						
	感じる	0.06	使える	0.05						

# まとめ

## まとめ

以上のアンケート結果より、以下の知見を得た。

1. 使用への動機は、**Type B**（他社モデル）と **Type D**（弊社新モデル）が同程度に高い評価となった。
2. ボタン部分と点灯部分の形状が明確に違うことは、迷いの低減につながる。
3. 文字による情報量が少なく、イラストによる情報提供がなされていることは、迷いの低減や分かりやすさにつながる



**Type D案**で商品化を進めました。



**高評価を頂き、現在も販売中です！**